

年縞等に関する国際連携機関の設立について

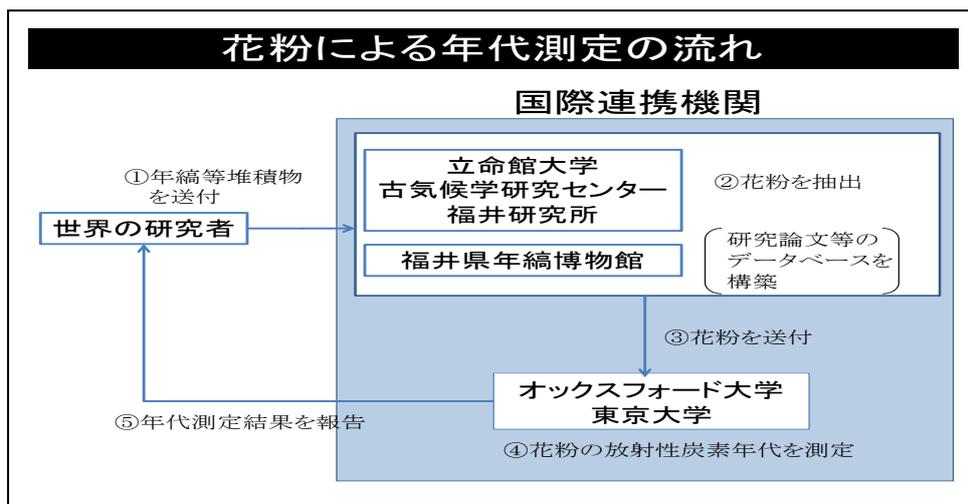
1 目的

世界各地の年縞等堆積物に含まれる花粉を抽出し、精密な年代を測定することにより、考古学や古気候学等の世界的な研究の進展に貢献するため、年代測定国際連携機関を設立する。

2 構成機関 福井県、立命館大学、オックスフォード大学、東京大学

3 事業内容

- (1) 年縞等の堆積物からの花粉抽出、抽出した花粉の年代測定
- (2) 研究成果（論文等）のデータベース構築
- (3) 世界の年縞研究者の交流事業、シンポジウム等の普及啓発事業



【参考】

国際連携機関設立記念シンポジウム（科学者の情熱と水月湖年縞）

日時：平成31年2月11日（月・祝）14：00～16：00

会場：リブラ若狭 講堂

記念講演者	所属	演題
クリストファー・ブロンク・ラムジー	オックスフォード大学 放射性炭素加速器センター長	過ぎ去った時間を計る 水月湖年縞の底力
アヒム・ブラウアー	ポツダム地球科学研究 センター教授	年縞は見ていた いまと違う気候そして災害